

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

50

認知症になったらどうしよう、不安を抱えている方もいらっしやるかと思えます。

「ライフドアすわ」が、諏訪市より委託されている事業のひとつに「認知症地域支援・ケア向上事業」があります。この事業は、認知症にな

っても住み慣れた地域で生活を続けるための支援や体制づくりの推進役として「認知症地域支援推進員（以下推進員）」の配置が必要で、在籍する医療・介護の専門職4名が担っています。

私たち推進員は、地域の方



たなか 田中 ひろみ

諏訪市地域医療・介護連携推進センター 認知症地域支援推進員

認知症に関する取り組みの更なる一歩を踏み出す



ライフドアすわで作成した「諏訪市認知症ケアパス」。市地域包括支援センターなどに設置しており、ライフドアすわHP（『ライフドアすわ』で検索）でも公開しています

や、市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画における「市の認知症施策推進の基本目標に基づいた重点事業と計画」を作成しました。

それらを元に、「めざす姿〜住民の状態〜」の目標を掲げ、実現のための重点項目（柱となるもの）を設定し、重点項目における三者の事業を整理し、新規または拡大したい事業も盛り込んだ計画案を取りまとめることができました。

今年度中には三者間で最終的な協議をして、改めて皆さんに計画案の具体的な内容をお知らせする予定です。

この計画案に基づき、三者が同じ方向を向き、そして認知症の方やそのご家族、地域で認知症関連事業に取り組ん

は、市全体の認知症施策の「めざす姿〜住民の状態〜」に向けて、具体的な目標や重点事業等の協議が必要とされています。

そこで、今年度は各々の活動の現状把握を行うと共に、「市の認知症施策体系図」

さらに効果的に活動するに

は、従来より、市地域包括支援センターや市社会福祉協議会でも取り組んでおり、この三者が参加する定期協議の場などで共有しながら、それぞれが事業にまい進してきました。

（毎月第2日曜日掲載）